

ずし男女平等参画プラン2030

－ 2024 年度実施状況報告書 －

2025 年(令和7年) 10 月

逗子市

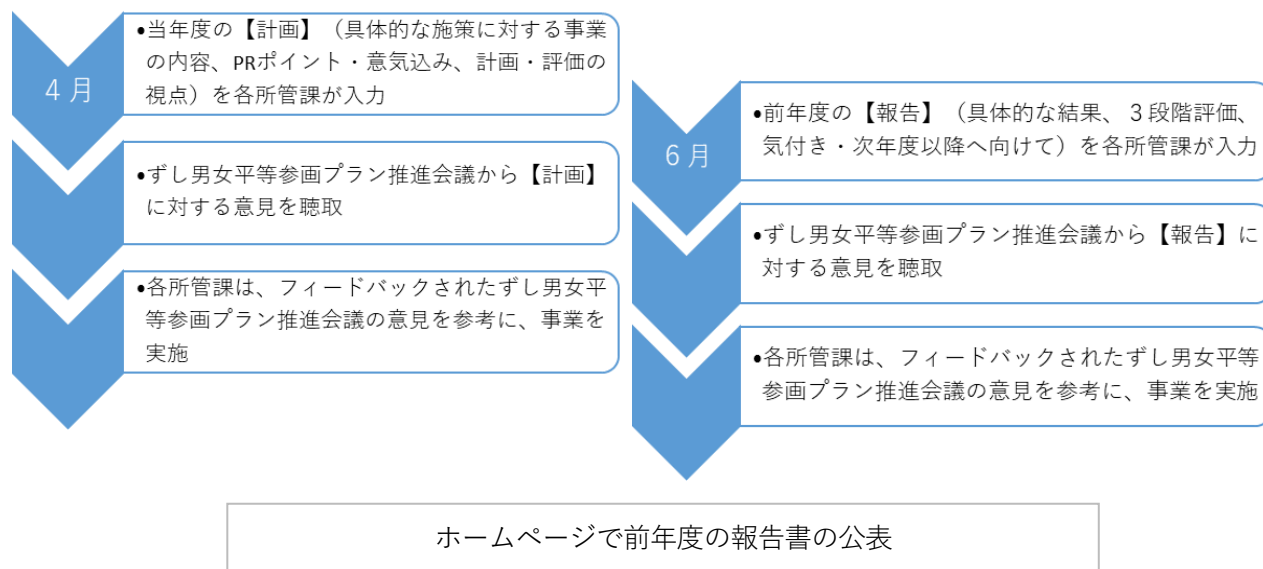
はじめに

逗子市では、2022 年(令和4年)10 月1日に「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を制定しました。また、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画「ずし男女平等参画プラン 2030」を 2023 年(令和5年)3月に策定し、様々な施策に取り組んでいます。この報告書は、「ずし男女平等参画プラン 2030」の進捗状況について公表するものです。すべての人が性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、多様性を認め合い、自分らしく生きることができるよう、男女平等参画及び多様性を尊重する社会の実現に向けて、取り組んでいきます。

進捗管理

「ずし男女平等参画プラン 2030」は、「めざす社会」と「基本目標」、それを実現するための「施策の方向」、「具体的施策」、その「内容」により体系化されています。進捗管理については次ページの計画・評価の視点を踏まえ、「ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書」により、推進計画と実施状況報告の 2 段階で進捗管理を行います。これにより、計画・評価の視点を各所管課と共有するとともに、各所管課は、ずし男女平等参画プラン推進会議からの意見を参考に事業を実施し、プランの推進を図ります。

計画・報告の流れ



※2024 年度(令和 6 年度)報告については、各所管課の報告及び男女平等参画プラン推進会議の意見聴取を7・8月に行っています。

ずし男女平等参画プラン 2030 推進計画・実施状況報告書

計画・評価の視点

視点1

「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」第3条の基本理念に基づいているか。

1	【人権の尊重と暴力の根絶】 全ての人々が、性別等にかかわらず個人として尊重され、あらゆる暴力及び差別的な扱いを受けることがないこと。
2	【多様な生き方の選択】 全ての人々が、性別による役割分担意識に基づく社会制度や慣行にとらわれることなく、個性及び能力を発揮し、自らの意思により多様な生き方を選択できること。
3	【あらゆる分野への男女平等参画の促進】 全ての人に、社会の対等な構成員として、あらゆる分野における活動方針の立案及び決定に平等に参画する機会が確保されること。
4	【ワーク・ライフ・バランスの実現】 全ての人々が、性別に関係なくワーク・ライフ・バランスを実現できること。
5	【生涯を通じた心身の健康づくり】 全ての人々の妊娠、出産等の性と生殖に関して、個人の意思が尊重され、生涯にわたり健康な生活を営むことができること。
6	【国内及び国際社会の取組との協調】 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進は、国内及び国際社会の取組と密接に関連していることから、それらの取組と協調して行われること。

視点2

ア	ジェンダー平等の視点 (例)男女のバランスが不均衡になっていないか、男女で機会に不平等がないか、ジェンダーバイアスを生み出す広報になっていないかなど。
イ	多様な性の視点 (例)性的マイノリティの存在も想定されているか、性的マイノリティが参加しづらいものになっていないか、性的マイノリティに対する差別や偏見を助長する広報になっていないかなど。

目 次

基本目標Ⅰ 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり

- 1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり1
- 2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進8

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進

- 1 政策、方針決定の場への女性の参画促進12
- 2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進14

基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- 1 多様性に配慮したまちづくり17
- 2 障がい者、生活困窮者への支援21
- 3 子育てへの支援23
- 4 生涯を通じた心身の健康づくり26

基本目標Ⅳ 誰もが活躍できるまちづくり

- 1 雇用における男女平等の実現30
- 2 女性が活躍する環境づくり34
- 3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発36

基本目標Ⅴ あらゆる暴力の根絶

- 1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組40
- 2 DV被害者の安全確保43
- 3 相談体制の充実48

プランの数値目標50

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	1
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 男女平等参画啓発講座の開催 2. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 3. 相談先情報やイベント情報を提供（ポスター掲示、チラシ配架等） 4. 市HPの充実			1. 男女平等参画啓発講座の開催 ・子どもの護身法講座（開催日7/21、参加者数42名（大人21名、子ども21名）、アンケート結果 大いに満足、満足…100%） ・自己決定力を強化する片付け教室（開催日12/14、参加者数44名、アンケート結果 大いに満足、満足…79.5%） ・デートDV予防ワークショップ（開催日2/25、2/26、参加者数公立中学2校計246名、アンケート結果 とてもためになった、ためになった…87.8%） ・性別でみる多様性と人権（開催日2/14、参加者数40名、アンケート結果 大いに満足、満足…97.5%） 2. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架（配架場所数5（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内2）） 3. 相談先情報やイベント情報の提供（ポスター掲示、チラシ配架等） 4. 市HPの充実 県のイベント、内閣府の男女平等参画関係イベントや広報誌を掲載。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
男女平等参画啓発講座のアンケートには共通の質問「全体的に考えると、男女の地位は平等になっていると思いますか」を令和5年度より追加しています。 啓発パンフレットは庁内及び市内各施設に配架します。 各種情報は市民協働課にて配架するとともに、積極的にHPへ掲載し内容を充実させることにより、市民や事業者向けの啓発を積極的に行っていきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	・デートDV講座について、内容のブラッシュアップを委託先に依頼した。加害をするのが男性だけの印象を与えないよう変更を依頼。 ・市民向けの講座について、テーマ・コンセプトを固めて開催したい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果がかった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、パンフレットの配架箇所数、場所の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	1
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	男女平等、多様性尊重の意識を高めるための啓発		
内容	講座や研修などを開催し、あらゆる分野において男女平等や性自認、性的指向により差別されることのない多様性尊重の社会を目指し、意識を高めるための様々な人権啓発活動を行います。		
事業名	人権教育等事業	当初 予算額	542 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題について正しい理解と認識を深める。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 市民一般向けに講演会（ユーモアと笑いから異文化交流）を開催 文化の違いを超えた人々のつながりを題材とし、多文化共生社会を目指す。			○「AIを利用する際の人権侵害リスクを考える」 概要 日々発展するAI技術が抱えるプライバシー等様々な人権侵害リスクを知り、トラブルを未然に防ぐ。 開催日 7/5、参加者16名、アンケート結果 満足度87%(平均) 感想「わかりやすくよく理解できた」等 ○「国際交流に見る外国の多様性」 概要 学校交流やホームステイなど様々な国際交流現場での体験を紹介し、多様な文化を理解する。 開催日 12/26、参加者12名、アンケート結果 満足度91%(平均) 感想「国際交流の具体的活動が興味深い」等	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
視点1の「1人権の尊重と暴力の根絶」において、全ての人々が個人として尊重される点を意識し、あわせて「2多様な生き方の選択」において、自らの意思により多様な生き方を選択できる点を意識している。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	様々な新技術が急速に普及したり、地域社会において多様な国の人々と共に生きる必要が生ずるなど、変化する社会情勢に適切に対応しつつ、これまで認識されてこなかった新たな視点での人権課題を迅速に捉え積極的に啓発していけるよう、引き続き留意していきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、具体的な参加者数の記載をお願いします。	内容が面白いので応援しています。男女平等・多様な性という視点から、どのようなことに気をつけているか、啓発のために配布しているチラシ等、講座の内容のほかにも知りたいので、次年度はぜひ報告にも記載してください。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	2
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	行政刊行物等における適切な表現		
内容	市から情報発信する刊行物、ホームページ、ちらし、パンフレット等において、男女平等参画の視点から適切な表現への配慮に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
庁内に市民協働課から取扱いについて周知することを検討			人権・男女平等参画係からの情報発信については、男女平等参画の視点から適切な表現へ配慮して作成した。 また、委託して行う講座においては、性差がわからないようなイラストに変更したり、さまざまなパターンのイラストを使用したりするなど、イラストの変更をお願いした。そして、「彼氏」「彼女」という呼称について、性の多様性という視点から呼称を変更する、または講座内の劇においてこの呼称を使用する補足説明をしてもらった。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
市からの情報発信が男女平等参画の視点から適切な表現となるよう、継続的に呼び掛けていけるような方法を検討したい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	逗子市からの情報発信すべてにおいて男女平等参画の視点から適切な表現となるよう、全庁的に周知するための取組を検討します。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

結果に期待しています。報告では検討結果の記載をお願いします。	具体的にどのように全庁的に周知されているのか、次年度は記載をお願いします。 また、家族には色々なかたちがあるので、家族の写真や画像を使用するときは、点も意識してほしいと思います。
--------------------------------	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	職員研修事業	当初 予算額	3706 千円
事業の目的	市職員への研修		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
当年度は実施予定なし。			行政課題研修として「性別でみる多様性と人権」講座が行われ、職員24名が受講した。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☐	ア ☐ イ ☐		次年度以降は市民協働課と共同での研修を検討していきたい。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

市民講座等の案内を職員に周知するだけでも啓発になりますし、動画研修や他課との共催もありと考えます。 必要なことです。ぜひ実施してください。	職員への周知の徹底を行い、より多くの職員に受けてもらえるような講座を実施してほしい。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
職員向けの研修（動画視聴）の実施を検討			・行政課題研修を兼ねて行った「性別でみる多様性と人権」講座では、職員が24名受講。 ・男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための研修（動画視聴）は389名が受講。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
継続して実施ができるよう、動画視聴の形での職員研修を実施したい。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	A	参加型の講座はグループワークもあり、職員が性と多様性について能動的に考える機会になった。また、動画研修は多くの職員が受講できた。それぞれの開催方法の利点を活かしながら、今後の研修方法も考えていきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☒	ア ☒ イ ☒	B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

結果に期待しています。頑張ってください。	常勤職員だけでなく、会計年度職員にも対象を広げてほしいです。また、アンケートで効果の確認や感想を参考にして、さらに次の研修にも生かしてください。
----------------------	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	3
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	市職員への研修		
内容	市職員に対して、男女平等、多様性を尊重する意識を高め、理解促進のための研修を行います。		
事業名	障がい者権利擁護事業	当初 予算額	202 千円
事業の目的	障がい者の虐待防止や権利擁護の普及啓発、障がい者の差別解消に資する活動を行うもの。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
虐待防止・権利擁護研修会の開催 職員研修の実施 学識経験者等をアドバイザーとする障がい者差別解消地域連絡会を実施することによる支援ネットワークの構築			障がい者の権利擁護・虐待防止啓発講演会を開催し、30名の参加があった。 市職員向けに合理的配慮に関する映像の視聴による研修を実施し、470名が受講した。 男女平等参画及び多様性の尊重に考慮した題材選びを考慮し、「アンガーマネジメント」「見えない障がい（ろう者の世界）」を取り扱った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
虐待防止・権利擁護研修会については性別に関係なく参加しやすい題材となるように検討していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	次年度以降も同様の事業を継続していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、開催した研修数、題材検討の際に男女平等参画に関して考慮した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。 次年度は、「支援ネットワークの構築」についても、どのような取り組みを行ったか報告をお願いします。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	4
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	1 男女平等、多様性尊重のための意識づくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	男女という枠組みが前提の考え方（性別二元論）にとらわれないよう、多様な性への理解を深める取組を行います。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 2. デートDV予防ワークショップの開催 3. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架			1. 逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 令和6年度宣誓数6件、累計宣誓数15件 2. デートDV予防ワークショップの開催 開催日久木中2/25、逗子中2/26、参加者数2校計246名 3. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 配架場所数5（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内2箇所）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
逗子市パートナーシップ宣誓制度は、性的少数者だけでなく、事実婚や養子縁組のパートナー同士の宣誓も受け付けており、県内で最も対象者を広く設定しています。 デートDV予防ワークショップでは、デートDVは婚姻関係にないカップル間で起こる暴力だが、カップルが男女の関係だけではないことを前提として説明します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	次年度以降もパートナーシップ宣誓制度の周知に取り組みます。また、デートDVは婚姻関係にないカップル間で起こる暴力だが、カップルが男女の関係だけではないことを前提として伝えるなど、ワークショップ内での伝え方を意識して実施します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-1、1-5及び視点2ア、イも意識して実施をお願いします。 （デートDVには、性暴力も含まれており、その予防は性と生殖に関わる重要な事項です。）	パートナーシップ宣誓の周知をもっと行ってみてはいかがでしょうか？ 毎年6月は世界的なプライド月間ですので、その月間も活用してみてください。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	5
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		
事業名	人権教育	当初予算額	千円
事業の目的	「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」を理解するとともに、それが態度や行動に現れるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【各学校】 ・「人権教育全体計画」を作成し、全ての教育活動で実施 【学校教育課】 ・神奈川県教育委員会作成「人権教育ハンドブック」を各学校へ周知 ・神奈川県教育委員会作成「人権学習ワークシート集―人権教育実践のために 第16集（小・中学校編）―」を各学校へ周知及び活用依頼 ・神奈川県教育委員会作成「人権啓発ポスター」の掲出依頼			1. 「人権教育全体計画」を作成し、全ての教育活動で実施した。 2. ・神奈川県教育委員会作成「人権教育ハンドブック」を各学校へ周知した。 ・神奈川県教育委員会作成「人権学習ワークシート集―人権教育実践のために 第16集（小・中学校編）―」の各学校へ周知及び活用依頼を実施。 ・神奈川県教育委員会作成「人権啓発ポスター」の掲出依頼を実施。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
令和6・7年度に「神奈川県人権教育研究委託事業」を市内中学校で実施	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	人権教育の推進から視点1の1～6のすべて視点を入れて取り組んでいく必要がある。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-1～1-6まですべての視点を意識して実施をお願いします。 （人権教育の推進は、すべての視点を意識して取り組むことが望まれます。）	より広く様々な視点を取り入れた取り組みを期待します。 学校教育ではとくに視点1の1～6を意識して欲しいです。また、ポスターやハンドブックを作る際には、子供の心に響くようなコンテンツを意識しての作成をお願いします。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会教育課	整理番号	5
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	人権教育の推進		
内容	児童、生徒に性別にとらわれない男女平等や多様性尊重に向けた人権教育を推進します。また、幼少期から意識啓発を行います。		
事業名	人権教育等事業	当初予算額	542 千円
事業の目的	市民を対象とし、人権問題について正しい理解と認識を深める。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 人権教育啓発用パンフレット印刷（3,000部予定） 配布先は、市立中学生生徒、市立小・中学校教職員等			○人権啓発リーフレット 「人権について考えてみましょう」 製作部数：3,000部 内容：昨年度に引き続き、性的マイノリティ・インターネット・生活困窮者・犯罪被害者の人権侵害等、様々な視点からの人権問題を簡潔に紹介。 周知：市庁舎窓口のほか、市民交流センター等主要公共施設に配架。市立中学校生徒（全学年）、市立学校全教職員等に配付。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度へ向けて
人権について自ら考えるきっかけとなるような内容にする。いくつかの人権問題が考えられるが、その中のひとつとして性的マイノリティを取り上げ、固定観念にとらわれない意識づくりを図る。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	昨年度製作した同タイトルのリーフレットと合わせることで、人権をめぐる様々な課題について主要な項目を網羅することができたが、スペースの関係上、各項目とも表面的な記載（頭出し）にとどまった。今後は個別の課題に特化し深掘りすることが必要である。 次年度は、新たに策定した人権施策推進指針の周知を図る内容での製作を検討している。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、内容において工夫した点の記載をお願いします。	新たに策定した人権指針に基づいた施策を期待します。
--	---------------------------

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	6
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	多様な性を尊重する意識を育てる教育の推進		
内容	多様な性を理解するための意識啓発を図るとともに、多様な性を尊重する意識を育てる教育に努めます。		
事業名	性教育	当初 予算額	千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【各学校】 「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施			1. 各校において「性教育全体計画」を作成し、養護教諭と担任、教科担任が連携し各教科の学習内容と関連させて指導に取り組んだ。 2. 教育研究相談センター夏季研修（共催；逗子教育研究会所属別部会） 7月25日「助産師による生命の安全授業」開催。教職員39名受講。平均3.9の評価（4点満点中）。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	夏季研修の講座については、参加者から大変好評であった。参加者が学校に戻り、研修内容の共有を行い子どもたちへの指導に役立てていく。また、具体的な実践例を把握していく必要がある。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☒	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

計画、報告ともに、各学校の取組、工夫した点が分かるような記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 今後も、より多くの教職員の方に研修に参加して欲しいと思います。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	7
基本目標	I 男女平等参画及び多様性を尊重する社会の推進に向けた意識づくり		
施策の方向	2 男女平等、多様性尊重に向けた教育の推進		
具体的な施策	教職員への研修		
内容	性別にとらわれない個人の人権を基盤にした人権教育のための研修を行い、教職員の男女平等及び多様性尊重意識の啓発に努めます。		
事業名	人権教育研修会	当初 予算額	千円
事業の目的	人権教育推進のための必要な知識を正しく理解するとともに、人間尊重の精神を基盤とした人権感覚の涵養を図る。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【学校教育課】 人権教育研修会の開催 内 容 学校、学年、学級で行う人権教育 等 対 象 ・会場校教職員 ・各学校人権教育担当者 場 所 沼間小学校（会場は持ち回り）			1. 人権教育研修会開催 8月29日 「人権感覚を高めよう！『知る、感じる、考える』～情報化社会での人権尊重～」 教職員、44名受講。評価平均3.7点(4点満点中)	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
参加者に即した研修会となるよう研修テーマは会場校と事務局とで調整の上で決定している。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	参加者の評価は高く、満足度の高い研修ではあったが、会場校以外の教職員の参加が少なかった。参加者を増やすことや研修会の内容の情報共有の仕方を検討していく必要がある。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

情報が各校へ伝わるように市内各校の教職員へ内容の共有をしてください。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 今後も、より多くの教職員の方に研修に参加して欲しいと思います。
------------------------------------	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	8
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場合への女性の参画促進		
具体的な施策	審議会等への女性の参加促進		
内容	市が設置する審議会等への女性委員登用を積極的に推進します。また、定期的に登用状況について調査します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
年1回審議会等委員における女性の割合について調査を実施			「逗子市審議会等への女性の参加促進に関する要綱」に基づき、委員数の40%以上を女性の委員にするよう努めるよう、調査の依頼時に周知した。 令和6年度調査結果：審議会数80 総委員数745名 うち女性委員数232名 比率31.1%	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
逗子市の審議会等委員の女性の参加促進に関する要綱第4条第1項に審議会等委員の選任に当たっては、当該審議会等の委員数の40パーセント以上を女性の委員にするよう努めるものとする。と定めており、調査の際に全課に周知しています。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		次年度以降も継続して周知します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	9
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	1 政策、方針決定の場への女性の参画促進		
具体的な施策	市女性職員の管理職の登用		
内容	女性管理職の確保を念頭においた人材育成を行い、女性管理職の登用を推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	0 千円
事業の目的	男女共同参画による市政運営を推進する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
特定事業主行動計画に基づき、女性管理職の登用を推進する。 ・市の女性職員の割合が40%となるようにする。 ・管理職の女性職員の割合が30%を超えるようにする。			管理的地位にある職員に占める女性職員の割合は、19.6%であり、昨年度から3.5%の増となった。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
女性職員の割合、女性管理職の割合については増加傾向にあり、引き続き進めていく。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		引き続き、特定事業主行動計画に基づき、女性管理職の登用を推進する。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☐ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

報告には数値の記載をお願いします。 また、視点1-4も意識して実施をお願いします。 （女性管理職の登用が推進されることは、ワーク・ライフ・バランスの実現にも関わります。）	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。 また、女性が管理職を目指すロールモデルがさらに増えることを期待します。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	10
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	自治会等の方針決定の場合への女性の登用		
内容	住民自治協議会や自治会、町内会等の方針決定の場合への女性の積極的登用を促進します。		
事業名	地域自治システム推進事業	当初 予算額	3,185 千円
事業の目的	役員会など方針決定の場合への女性の登用		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
住民自治協議会や自治会、町内会等の役員会などの方針決定の場合は男女共同参画の場が享受されている。			住民自治協議会は4小学校区の代表者の男女比は50%（男性2、女性2：4小学校区） 自治会町内会の代表者の男女比は24.6%（男性55人、女性18人：73団体）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
引き続き方針決定の場合への啓発を継続していきたい。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		方針決定する女性の比率を増やすことが目標である。しかしながら住民自治協議会、自治会・町内会の担い手の高齢化、世代交代がうまく進まず、同じ人が役員を続けている実情がある。引き続き必要な視点であることを周知していく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、具体的な取組の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家庭内における家事、育児、介護などへの男女平等参画を推進します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架 2. 職員向けの研修（動画視聴）の実施を検討 3. 市HPの充実			1. 「逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の啓発パンフレットの配架（配架場所数5（交流センター、沼間・小坪コミュニティーセンター、市役所内2箇所）） 2. 男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進するための研修（動画視聴）は389名が受講。性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画で行った。 3. 内閣府発行の「共同参画」の掲載を始めた（毎月）HPアクセス数は3,127件（R5）→4,444件（R6）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
啓発パンフレットは庁内及び市内各施設に配架し、HPへも掲載します。 市HPの内容を充実させ、市民や事業者向けの啓発を積極的に行っていきたい。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けて、何が有効か模索しながら普及啓発を続けていく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

報告では、パンフレットの配架箇所数及び場所の記載をお願いします。 HPのアクセス件数がどの位変わるか、工夫した取組に期待しています。	アクセス数の増加の様子が数値で報告されており、わかりやすいです。今後もSNSを有効活用してほしいと思います。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	11
基本目標	Ⅱ あらゆる分野への男女平等参画の促進		
施策の方向	2 地域活動、社会活動における男女平等参画の促進		
具体的な施策	家庭内における男女平等参画の促進		
内容	家事、育児、介護、就労体験などの体験的な学習活動の中で、性別による役割分担意識にとらわれることのない学習を推進します。		

事業名	キャリア教育	当初 予算額	千円
事業の目的	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【各学校】 各教科及び特別活動の学習内容と関連させながら適宜実施			中学校において職場体験や就労体験、キャリアフェスティバル等を実施した。職場体験では延べ約180、キャリアフェスティバル延べ約80の事業所や商店、企業に協力を得た。主に2年生中心(1年生参加の学校あり)。参加生徒、約400名。 この他、逗子商工会青年部の協力を得て、あきんど塾、市民祭りでの販売を学ぶ。海上自衛隊での職場訪問など行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
各中学校に応じて、職場体験や就労体験、キャリアフェスティバル等を実施し、就労について学ぶ機会を設けている。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		様々な職種の方と接する機会を得て、働くことの意義や全ての人が多様な生き方を選択できることを学んだ。生徒の状況に合わせての実施を進めていく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	3 ☒	ア ☐ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☐ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があつた
B：一定の効果があつた
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

報告では、具体的な取組の記載をお願いします。 視点1-3及び1-4も意識して実施をお願いします。 (キャリア学習に関する取組は、あらゆる分野における機会均等やワーク・ライフ・バランスにも関わります。) 	職業におけるジェンダー感が強いようなメッセージが発信されていると、子ども達にジェンダーバイアスを作る機会になりかねません。パンフレットや先生からのメッセージなどがあると良いと思います。次年度の報告ではこれらの点について報告を期待しています。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	12
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	防災の分野における多様性の推進		
内容	防災分野において、多様性の視点を取り入れます。		
事業名	地域防災活動における多様性の推進	当初 予算額	0 千円
事業の目的	男女共同参画と多様性視点を生かした地域防災活動を推進する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
○多様性の視点を生かした地域防災力の強化を図る。 ・女性の防災士資格取得を促進 ○多様性に配慮した避難所運営となるよう、各小学校区における避難所運営委員会の構成やマニュアルづくりを推進する。 ・避難所運営委員会における女性の参画を促進 ・多様性の視点を取り入れた運営マニュアルの作成促進			○自主防災組織に対し、女性2名を含む、計6名の防災士資格の取得費用を助成した。 ○5小学校区の避難所運営委員会において、女性参画のもと定期的（月1回程度）に運営会議を開催したとともに、全区で避難所運営訓練を実施した。 ○運営マニュアルに、多様な性の視点を取り入れることについて、共通認識を持つことができた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
・自主防災組織への補助金において、新たに防災士資格取得費用を追加した。 ・市の防災訓練を各小学校地区（5地区）で実施している避難所運営訓練と同日に共同開催しており、その中で男女共同参画の必要性等について、周知・啓発を行っている。	1 ☐	ア ☐ イ ☒	B	○防災士資格のメリット及び取得費用の助成制度等について、積極的に周知・広報を行っていく。 ○引き続き、避難所運営訓練等を通じて男女共同参画の必要性等について、周知・啓発を行っていく。 ○各避難所運営委員会の運営会議において、多様な性を意識した運営マニュアルの見直しに取り組んでいく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-1及び視点2のイも意識して実施をお願いします。（防災の取組が、女性や性的マイノリティの存在も意識・想定されていることは、人権の観点からも重要なことです。）報告では、「多様性の視点を取り入れた運営マニュアルの作成促進」について具体的な取組結果の記載をお願いします。	多様な性について共通認識を持っていただき、ありがとうございます。今後は実際の運営にまで落とし込んでいただくよう、行動化まで期待します。また、大規模な災害のときには外部のボランティアの方が来ることも予想されます。より多くの人に伝わる内容のマニュアルの作成をお願いします。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	防災安全課	整理番号	13
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様性尊重の視点に立った災害時の対応		
内容	避難所における多様な性や男女の違いに配慮した災害備蓄品や環境等の整備を行い、運用において配慮をします。		
事業名	多様性尊重の視点を取り入れた避難所運営	当初 予算額	101 千円
事業の目的	災害時において、あらゆるニーズに配慮した避難所運営となるよう体制を構築する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
○男女の違いに配慮した災害備蓄品の整備を行う。 ・生理用品等の購入 ○多様性に配慮した避難所運営を目指す。 ・避難所運営職員（地震及び風水害時）の指定にあたっては、一方の性別に偏らない配置とする。			○男女の違いや防犯面を配慮し、生理用品及び目隠しポンチョを購入した。 ○避難所運営職員の班編成においては、男女一組とし、一方の性別に偏らない配置とした。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2		気付き・次年度以降へ向けて
・従来から備蓄している生理用品の増備のほか、授乳時の目隠しポンチョや、トイレ経路のLED照明などを新たに備蓄したい考えである。 ・風水害時の避難所職員指定にあたっては、男女混合となるよう柔軟な対応がしやすい1班2名体制に変更し、体制を確保した。 ・地震時の避難所職員についても、男女混合配置にする予定である。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	○引き続き、生理用品のほかトイレ用照明灯などを整備していく。 ○今後も、風水害時の避難所運営職員を男女混合にしていくとともに、地震時の避難所配置職員についても、男女混合となるよう調整していく。 ○多様な性を意識し、多目的トイレの整備、設置場所などについて検討していく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

数々の具体的な取組に期待しています。 視点2のイ性的マイノリティへの配慮も意識して実施をお願いします。 （災害時の対応において、性的マイノリティの存在も想定した準備やマニュアルが求められています。）	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	パートナーシップ宣誓制度の周知をし、制度の改善や利用拡大を図ります。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
逗子市パートナーシップ宣誓制度の周知			逗子市パートナーシップ宣誓制度の実施 ・パートナーシップ制度相互利用連絡会参加 1回 ・令和6年9月から、パートナーシップ宣誓を行った同性カップルの住民票の続柄に、当事者が希望すれば異性間の事実婚と同様に「夫（未届）」「妻（未届）」と記載し、交付する運用を始めた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
パートナーシップ宣誓制度手続きガイドブックを作成し、配布及びHPに掲載しています。 パートナーシップ宣誓は土日でも宣誓を受け付け、利用しやすい制度を目指しています。 制度の利用者を広げるため、県内自治体と都市間連携協定（手続きの簡略化が可能）を締結予定です。（令和6年度中目標）	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	引き続きパートナーシップ宣誓制度を実施していく。現状、ガイドブックは問い合わせがあった方に配布をしている。他市と連携しての周知方法も検討していく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☒	ア ☒ イ ☒	B	

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、ガイドブック等の配布数の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	14
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	1 多様性に配慮したまちづくり		
具体的な施策	多様な性への理解		
内容	アンケートや申請書等から不要な性別欄を削除したり、統計調査の質問項目から削除したりすることなどを検討します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
市役所内のアンケート、申請書等の性別欄を把握するための調査を検討			他課からのアンケート調査等の質問項目の候補について相談を受けた際に、「その他」を加えることなどをその都度助言したが、調査までは至らなかった。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
削除するだけでなく、「その他」の項目を新たに設けるなど、複数の選択肢を例として提示したい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	各課が作成している調査も多岐に渡っており、性別の調査が必要なものもある。ガイドラインの作成やチェックリストの作成も視野に入れる。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

アンケートでは、目的等によっては性別の情報が必要な項目である場合があります。 削除ではなく、「回答しない」「答えない」等選択肢を増やすことを検討してください。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	15
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	女性の経済的自立への支援		
内容	非正規雇用者は女性の割合が高く、社会情勢などによる影響を受けて経済的に困窮することは男性より女性に多い傾向があるため、女性の経済的自立への支援を行います。		
事業名	生活困窮者自立支援事業	当初 予算額	16,195 千円
事業の目的	現に経済的に困窮し、生活保護に至る前段階の者に対し、自立支援策の提供を行う		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
生活困窮者を対象とした自立生活に向けた相談、情報提供。また、必要に応じて当該生活困窮者の家計の改善に向けた支援。就労困難な生活困窮者に対して、就労に必要な知識・能力等の習得に向けた支援。離職等の事由により、住居を失ったもしくは失う可能性のある生活困窮者に対して、求職活動を行う等の条件により家賃相当額の給付を一定期間行う。			①生活困窮者自立相談支援事業（社協委託事業） ・新規相談件数57件（女性27件、男性30件） ・継続相談件数37件（女性21件、男性16件） ・プラン作成件数26件（女性13件、男性13件） ②家計改善支援事業（社協委託事業） ・相談件数19件（女性8件・男性11件）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2		気付き・次年度以降へ向けて
支援を必要とする生活困窮者の属性が多様化しているなかで、様々なチャンネルで相談を受け付けられるように体制整備を行うとともに、支援が行き届かない人、支援を求めないような人には、こちらからアプローチを行うアウトリーチ支援等、その人に応じた包括的な相談支援を多機関と連携・協働して実施していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	B	・高齢女性からの相談が増えており、また潜在的な要支援者も多いと思われる。支援が行き届かない要支援者に対して効果的なアプローチ等行う必要がある。 ・課題が深刻化するのと比例して、解決に要する期間も長期化することから、早期介入、早期解決が必要である。 ・就職氷河期世代に向けた支援についても、検討の必要がある。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、体制整備やアウトリーチに関して工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。相談の際には性別を「その他」と回答することはできるのででしょうか。単純に男女だけでなく性別の方々への配慮をお願いします。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	障がい福祉課	整理番号	16
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	2 障がい者、生活困窮者への支援		
具体的な施策	地域生活支援拠点等の整備		
内容	障がい者等の重度化、高齢化や、「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を備えた場所（拠点）を整備します。障がい者等の介護を行う家族等の病気や事故など「もしも」の緊急時に備えて関係機関が協力し、その生活を地域全体で支える仕組みをつくり、今の地域に安心して住み続けることができるよう、将来に対する不安の解消に努めます。		
事業名	障害者自立支援給付等支給事業	当初 予算額	1,039,370 千円
事業の目的	住まいの場における居宅介護などの訪問系サービスや、日中活動の場における機能訓練、就労支援などの通所系サービス、グループホームなどの居宅系サービスを提供する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
登録者増や利用促進のために自立支援会議や相談支援事業所への周知利用の相談等が発生した際の対応			実際のサービス利用はなかった。 新規登録者は0人であった。 自立支援会議にて、地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討を行うとともに緊急時を見据えたシミュレーションを行った。 利用者向けのガイドラインについては、使われているイラストの登場人物に偏りがなければ見直しを行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
登録・利用に性別の偏りが発生しないように、利用者向けのガイドラインのイラストを作成している。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	実際の利用はなかったが、制度としては一定整備されている状態といえる。 次年度以降は登録者を増やす方法等について検討していく。 次年度以降も継続していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、イラスト作成の際に男女平等参画の観点で工夫した点（表現の方法など）の記載をお願いします。	イラストの見直しについて、ありがとうございます。取組結果から、プランの推進へ効果一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17①
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	家族形態や就労状況によらず育児情報が得られやすいことを目指し、オンラインでの子育て情報の発信に努めます。		
事業名	子育てポータルサイトえがおでの情報発信	当初 予算額	0 千円
事業の目的	返子で子育て中の母親・父親に対して子育てしやすい環境づくりのための情報提供を行う。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
・返子市の子育て事業やイベント・講座・健診についての情報発信を行う。 ・ずし子育てわくわくメールで赤ちゃん～高校生までのお子さんがいるご家庭を対象に、イベントや講座、健診など、お子さんの年齢に合った情報を毎月配信。			ずし子育てわくわくメールについて 令和6年度3月末時点の配信数 未就学児892名 小学生525名 中高生131名	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
・子どもの年齢に応じて、必要な手続きや知りたい情報がスムーズに得られるようになっている。 ・えがおレポートでは、子育て中の市民レポーターが返子での子育て情報を市民目線で発信している。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		・えがおHPでの情報発信は新規イベントやお知らせ事に都度更新、ずし子育てわくわくメールは月ごとの配信のため、鮮度の高い情報を提供している。今後も今の運用を継続する。 ・えがおレポートについて、レポーター全員が令和6年度で活動終了となったためレポーターの確保が来年度の課題。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、具体的な発信例の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	17②
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	父親と母親がともにする子育てのための啓発		
内容	性別役割分担意識により母親に偏りがちな育児について、父親の育児時間の増加を促進します。		

事業名	パパママ準備クラス	当初 予算額	60 千円
事業の目的	妊娠期から身体面、精神面ともに健康に過ごせるように、臨床心理士、助産師、保健師が健康教育を行う。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
・パパママ準備クラスの開催 令和6年度は3コース4回/年を実施予定 令和6年度は全ての母子健康手帳発行時に父親向け子育て冊子を配付 ・YouTube動画配信 赤ちゃんのお風呂、離乳食（前期・中期・後期）の他、0～4か月頃の赤ちゃんの特徴や両親の心身の変化などを伝え、産後のメンタルヘルスについて伝える動画を配信予定			・パパママ準備クラス実施（3コース（1st、2nd、3rdステップ）4回/年） 参加延人数 194人（妊婦114人、夫80人） *産後の教室である4thステップは、産後うつ予防・早期発見の目的で産婦対象に実施しているため、上記参加人数には含まず。 ・YouTube動画の配信 「0～4ヶ月の赤ちゃんのママとパパへ」視聴回数416回（令和7年7月29日現在）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
・パパママ準備クラスでは、夫婦協働子育てについて育児経験のある男性臨床心理士が講義を担当。 ・父親向け子育て冊子は、イラストが多く読みやすい冊子を選択。 ・YouTube動画配信では、時間を選ばずいつでも内容を確認できる。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		・パパママ準備クラスでは、夫婦協働子育てについて育児経験のある男性臨床心理士が講義を担当。 →講義後は講師に対して育児について質問する方いた。アンケート結果からも講義に満足したとの回答が79.4%(2ndステップ4回の平均値) ・父親向け子育て冊子は、イラストが多く読みやすい冊子を選択。 →全対象者へ配付。次年度も継続 ・YouTube動画配信では、時間を選ばずいつでも内容を確認できる。 →YouTube動画の周知する
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、PRポイントの数々を行った結果、どのような変化（改善の効果）があったのかを記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	18
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	3 子育てへの支援		
具体的な施策	子育て施設の父親の利用		
内容	父親が育児に関わる機会が増えるよう子育て施設の父親の利用向上を目指します。		

事業名	子育て支援センター運営事業	当初 予算額	19,135 千円
事業の目的	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域で孤立しがちで、子育てに悩みや不安をもつ母親たちに対して、身近で気軽に利用できる「支援拠点」の役割を果たすことによって、母親たちの孤立感・育児不安の軽減、解消を図るとともに、地域での育児をゆとりをもって楽しめる環境づくりを進めていく。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
イベント：お父さんの日 開催日時：毎月第1、第3土曜日 参加対象：父親とその子ども 実施内容：父親同士の育児に関する情報交換、またスタッフによる子育ての悩み相談を実施している。			令和6年度実績として 全22回開催 145組307人の参加 座談会の形で行っているため、お父さんの日としての相談件数はカウントしていない。個別に相談があった場合等は全体の相談記録と併せて記録している。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
・子育て中の父親の居場所としての提供 ・父親同士の育児に関する情報交換の機会の提供 ・母親との育児分担や育休についてなど、父親ならではの困りごとを幅広くアドバイザーが相談を受け付ける。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		・他の父親と話せてよかった等の声が聞かれ、利用者から好評な取り組みである。主なトピックとしては育休・復職の悩み、母親のサポート等。引き続き事業を継続する。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、具体的な利用者数、相談件数の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	社会福祉課	整理番号	19
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	女性の健康寿命を延ばすための介護予防事業		
内容	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者（元気高齢者）の割合を増やすためには、高齢者全体の健康寿命の延伸が必要です。平均寿命が健康寿命であるとは限らず、日常生活に制限が生じる不健康な期間が男性より女性の方が長いことから、不健康な期間を短縮する取組として介護予防事業を行うにあたり、高齢女性の特性に十分配慮した取組を行います。		
事業名	・自立支援型介護予防生活支援サービス事業 ・一般介護予防事業	当初 予算額	25,478 千円
事業の目的	要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者等に対して、要支援・要介護状態を防ぐための多角的な支援を行う。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
身体機能向上を目的とした短期集中型の通所型サービスや地域の実情に応じた住民主体の訪問型サービスの提供。 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施し、結果に基づくアドバイス個別に通知。 介護予防教室を開催し、参加者に即した個別のカリキュラムを実施、運動機能等の維持向上を目指す。 虚弱化、運動機能低下等の傾向のある者を早期に発見し対応するためのフレイルチェックの実施。 介護予防・健康寿命の延伸を目的とした運動習慣化の取組「てくてく返り」を実施。参加者の運動機能向上を目指すとともに、計測したデータ等を活用して介護予防教室等の見直しに資する。			・身体機能向上を目的とした運動器口腔栄養の複合型短期集中の通所型サービスC80回延参加人数264人（内女性247人） ・一般介護予防事業対象者向け事業 ①運動器の機能向上教室（ベーシックコース）30回429人（内女性295人） ②運動器の機能向上教室（アクティブコース）11回延124人（内女性92人） ③運動器の機能向上教室（水中運動教室）12回 延169人（内女性136人） ④認知症予防プログラム（脳活・筋活講座）44回 延513人（内女性364人） ・フレイルチェック測定会12回延98人（内女性66人）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
高齢者が住み慣れた地域で最後まで尊厳と生きがいを持って生活できる地域包括ケアシステムの理念に基づき、平均寿命＝健康寿命となるべく取り組みを実施していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	B	本市の健康寿命・平均の寿命については男性・女性いずれも県・全国平均より高いものの、女性の平均寿命が88.3歳、健康寿命84.3歳と支援等必要な期間が男性の約2倍あることから、平均寿命と健康寿命の歳を少しでも短縮するために、早い段階からその人に応じた健康寿命延伸、介護予防の取り組みを目指していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、事業実施の際に男女平等参画の観点で工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	20
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	生涯を通じた女性の健康支援		
内容	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する正しい知識の普及に努めるとともに、生涯を通じて適切な健康づくりができるよう、相談体制の整備等を行います。		
事業名	性と健康の相談（相談事業）、不妊治療費・不育症治療費助成	当初 予算額	2,500 千円
事業の目的	プレコンセプションケアを含め、男女問わず性や生殖に関する健康支援を総合的に推進し、ライフステージに応じた切れ目のない健康支援を実施する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 個別相談対応 性や生殖に関する健康についての相談を個別に対応する。（死産・流産等を経験された方や不妊症・不育症に対する相談を含む） 2. 情報提供 ・母子保健事業（乳幼児健診・教室他）のなかで、チラシ等を用いた知識の普及、情報提供を行う。 ・神奈川県で実施している関連事業のリンクを市のホームページに掲載し、情報を得たい方がアクセスしやすい環境にする。 3. 不妊・不育症治療費補助制度 不妊治療や不育症治療を希望する対象者に対し、助成事業の情報提供や治療費助成事務を行う。			1. 個別相談対応 継続実施（件数は未把握） 2. 情報提供 ・子育て支援課掲示板、乳幼児健診・教室等会場、子育て支援センターでは、チラシ等を掲示、自由配架としています（件数は未把握） ・神奈川県で実施している関連事業のリンクを市のホームページに掲載し、情報を得たい方がアクセスしやすい環境にする。 3. 不妊・不育症治療費補助制度 不妊治療や不育症治療を希望する対象者に対し、助成事業の情報提供や治療費助成事務を行う。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
・不妊に悩む夫婦、将来子を持ちたいカップル、身体的・精神的な悩みを有する女性等への相談指導や、不妊医療、妊娠・出産、女性の健康に関する医学的・科学的知見の普及啓発等を実施。 ・不妊、不育症治療を希望する者に対し、治療費助成を行い、妊娠・出産の選択を支援。	1 ☐	ア ☐ イ ☒	B	専門性の高い相談支援は、県の事業等が主であるため、事業案内が主になるが、経済的支援と2本柱の支援を継続していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☒	ア ☒ イ ☐	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、取組み実施の際に男女平等参画の観点で工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	学校教育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるま ちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		
事業名	性教育	当初 予算額	千円
事業の目的	性について正しい知識を持ち理解を深められるようにする。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
【各学校】 「性教育全体計画」を作成し、各教科の学習内容と関連させながら実施			各校「性教育全体計画」を作成し、学校要覧に掲載。小学校、中学校の発達段階に合わせた取り組みを実施。養護教諭と担任、各教科担当が連携して授業を行った。2月、中学3年生 性教育講演会を各学校で実施。中学1、2年生でも性教育講演会を実施した学校あり。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	各学校の取り組み状況報告書を作成し、各校の実施状況等の確認を行う。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

計画、報告ともに、各学校の取組、工夫した点が分かるような記載をお願いします。	次年度は、各学校が行っている取組状況についてぜひ報告してください。
--	-----------------------------------

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	保育課	整理番号	21
基本目標	Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり		
施策の方向	4 生涯を通じた心身の健康づくり		
具体的な施策	発達段階に応じた性教育の推進		
内容	性について正しい知識を持ち理解を深めるため、子どもの発達段階に応じた性教育の推進に努めます。		
事業名			当初 予算額 0 千円
事業の目的			

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
日々の保育の中で、プライベートゾーンについて子どもたちに伝えていく。			日々の着替えやプール運動の際に、「水着で隠れている部分は、見ようとすることも見せることも、触ろうとすることも触らせることもいけないこと」と子どもたちと話し、日常生活の中で正しい知識を持てるようにしている。また、着替えの際にはパーテーションを置くなど、環境を工夫をしている。 保育園での性教育として関連の絵本を読み聞かせたり、年長児保育室の本棚に置き自由に子どもたちが見ることができるようになっている。 職員にも、保育専門誌に掲載されている乳幼児期の性教育に関する内容を共有し、新しい学びを共有している。 良かった絵本としては下記2冊が挙げられる。 ・大泉書店 だいじだいじどこだ？ ・童心社 うみとりくのかからだのはなし	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
絵本の読み聞かせなどを取り入れていく。絵本を選ぶ際には、図書館の絵本はもちろん、今後購入する際にも、子ども達が理解を深めやすいものにする。また読み聞かせの手法についても理解が深まるよう工夫していきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☐	A	次年度は今年度実施した内容に加え、絵本を使い、もっと身近に子どもたちの理解を深め、正しい知識を持てるように工夫していく。職員も性教育の研修に積極的に参加し、保育の質を高めていく。また、視点2のイについては、次年度以降の実施を検討する。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点2のイも意識して実施をお願いします。 （幼少期の子どもでも、保護者や周囲が性的マイノリティであったり、本人が性別違和を感じていたりすることもあり、そのような子どもにとっては生き方に関わる学びとなり得ます。） 報告では、良かった絵本があれば記載をお願いします。	良かった絵本を報告していただき、ありがとうございます。多様な性やジェンダーに触れている絵本もたくさん出ているので、ぜひ取り入れてほしいと思います。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	22
基本目標	IV 誰もが活躍できるさるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	雇用における男女平等の推進		
内容	性別等にかかわらず募集、採用がされるなど、雇用の分野における男女平等を推進します。		
事業名	労政事業	当初 予算額	937 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
ハローワークの庁内への配架により採用情報等を広く周知するほか、関係機関が発行する雇用の分野における男女平等に関する啓発チラシ等を配架し啓発に努める。また、事業者に対しても雇用の分野における男女平等が推進されるよう、周知啓発に努める。			来庁者の目に触れやすい場所にハローワークや男女平等に関するチラシ等を配架し、周知や啓発に努めた。毎週発行されるハローワークを約50部、また年間で約40種類のチラシを配架した。雇用における男女平等の推進を図ることで、女性の自立支援に寄与した。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
ハローワークについては庁内ラックへの配架により幅広く情報提供に努めているほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課の相談員等へ情報共有することで女性の就業支援などの情報源として役立っている。事業者への周知啓発に関しては、商工会と連携している。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		ハローワークは庁内ラックの他に、引き続き子育て支援課や障がい福祉課などへも情報共有し、情報源として活用していきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、配架した啓発物数、情報共有や商工会との連携によって推進に寄与したと思われる具体例（啓発の効果がわかること）の記載をお願いします。	どのようなチラシを周知しているのか報告していただけると嬉しいです。
--	-----------------------------------

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	23
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	市職員の男女平等の推進		
内容	市職員の採用、昇進等は性別等にかかわらず能力によって行い、誰もが活躍できる職場づくりを推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	0 千円
事業の目的	人事の適正配置		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
公正な職員採用、昇進等の推進。			公正な職員採用、昇進等ができた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
採用試験については、性別ではなく能力評価に基づく採用試験を引き続き実施していく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	引き続き、公正な職員採用、昇進等の推進をする。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-1及び視点2のイも意識して実施をお願いします。 (LGBT理解増進法の成立など、性的マイノリティの存在も含めて、性別による雇用機会の不均等は改善が求められています。)	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	24
基本目標	IV 誰もが活躍できるさるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	職場におけるあらゆる性差別解消の促進		
内容	職場における性差別の解消を進めるよう事業者への啓発を行います。		
事業名	労政事業	当初 予算額	937 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
県や関係機関が作成する事業者向けの啓発チラシの配架や、商工会へ情報提供を行い、会員事業所へ周知してもらう等、連携した支援を行っている。			来庁者の目に触れやすい場所に事業者向けのチラシを年間で約40種類配架し、事業者への啓発に努めた。商工会や会員事業所等と連携した支援を進めた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
今後も関係機関や商工会と連携し、必要に応じてセミナー等開催するなど、事業者への周知啓発に努めていきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	今後も商工会や関係機関と連携しながら、事業者への周知啓発に努めていきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、配架したチラシの数、周知啓発の際に工夫していることの記載をお願いします。	どのようなチラシを周知しているのか報告していただけると嬉しいです。
--	-----------------------------------

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	25
基本目標	IV 誰もが活躍できるさるまちづくり		
施策の方向	1 雇用における男女平等の実現		
具体的な施策	労働条件の改善に対する支援		
内容	事業者に対し、労働関連法令及び各種支援制度等を周知し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めます。		
事業名	労政事業	当初 予算額	937 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
関係機関からの啓発チラシ等を配架し周知に努める。また、かながわ労働センターと共催で街頭労働相談会を市役所1階ロビーにて開催し、性別に関係なく幅広い労働者が気軽に相談できる機会を提供することで、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努める。			来庁者の目に触れやすい場所に、労働に関するポスターやパンフレットを掲示・配架し、労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けた情報提供に努めた。 また、令和7年3月21日（金）にかながわ労働センターと共催で街頭労働相談会を市役所1階ロビーにて開催し、性別に関係なく幅広い労働者が気軽に相談できる機会を提供した。開催にあたり、市の公式LINEやホームページを活用した周知を行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
かながわ労働センターと共催で実施している街頭労働相談会においては、当日ブース前に各種労働相談に関するチラシやパンフレットを配架しており、相談以外にも、チラシやパンフレットの配布や関係機関の案内等直接専門員が行っているため、啓発としてもよりよいものとなっている（かながわ労働センター相談員2名体制）。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		街頭労働相談において、労働相談に関する約5種類のチラシやパンフレットの配布も行った。今後も労働者の適切な処遇や労働条件の向上に向けて、関係機関からのポスターやパンフレットを掲示し情報提供を進めていく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、配架したチラシやパンフレットの数、周知啓発の際に工夫していることの記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。 また、SNSでの情報発信も効果的だと思います。ぜひ引き続き活用してください。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	26
基本目標	IV 誰もが活躍できるさるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	就業、再就職への支援		
内容	情報の収集や提供を行い、女性の就業、再就職に対し支援を行います。		
事業名	労政事業	当初 予算額	937 千円
事業の目的	勤労者に対する各種支援		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
ハローワークの庁内への配架により採用情報等を広く周知するほか、関係機関が発行する女性を対象とした就労セミナーや雇用分野における男女平等に関する啓発チラシ等を配架し、周知に努める。			来庁者の目に触れやすい場所に、労働や男女平等に関するポスターやパンフレットを掲示・配架することで周知に努めた。また、毎週発行されるハローワークの庁内への配架により、採用情報等の周知に努めた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
ハローワークについては庁内ラックへの配架により幅広く情報提供に努めているほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課の相談員等へ情報共有することで女性の就業支援などの情報源として役立てている。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		ハローワークは庁内ラックのほか、子育て支援課や障がい福祉課など関係各課へ情報共有することにより、女性の就労支援などの情報源として活用していきたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、配架した啓発物数、啓発や情報共有に関して工夫している点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	経済観光課	整理番号	27
基本目標	IV 誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	2 女性が活躍する環境づくり		
具体的な施策	女性の起業への支援		
内容	創業支援セミナーを開催し、女性の起業に対し支援を行います。		
事業名	逗子市商工会助成	当初 予算額	20,354 千円
事業の目的	市内商工業の振興等を図ることを目的に設立された団体を支援する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
年齢や性別に関わらず幅広い参加者を対象とした逗子創業スクールを開催し、女性の起業に対し支援を行う。			創業スクール（全5回）を対面で実施するほか、オンデマンド配信動画でも視聴できるものとし、時間の制約がないことから幅広く参加いただけた。創業スクールの参加者数は男性66名、女性62名であった。対面での参加者数は63名、オンデマンド動画視聴者数は65名とオンデマンドの人数の方が多かった。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
創業スクールの開催のほか、広報ずしや商工会が発行する創業支援に関する機関誌「創業支援カフェ」において女性の起業家にスポットを当てた記事の作成に努めており、女性の起業に関する機運を高めることができる。また、創業スクールは対面で開催するものとオンデマンド配信動画を視聴して受講するものの2種類を提供しており、オンデマンド配信においては時間や場所の制約がないため、より幅広く参加できるよう工夫している。そのため、女性のスクール参加者や起業家の比率を高めることができる。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		年齢や性別に関わらず幅広く参加することのできる創業スクール等を通して、女性の起業家の比率を高めていくなど女性の起業に対する支援を行っていききたい。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。報告では、スクールの開催数や女性の参加者数の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。また、受講した人のうち、どのくらいの人が創業につながったかわかるようであれば報告してください。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	28
基本目標	IV 誰もが活躍できるきるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児、介護、看護休業取得の促進		
内容	ワーク・ライフ・バランスが実現できるよう、育児、介護、看護休業制度について普及を図ります。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 職員向けの研修（動画視聴）の実施を検討 2. 市HPの充実			1. 男女平等参画及び多様性を尊重する 社会を推進するための研修（動画視聴）は389名が受講。性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消等に向けた普及啓発用動画で行った。 2. 内閣府発行の「共同参画」の掲載を始めた（毎月）HPアクセス数は3,127件（R5）→4,444件（R6）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
市HPの内容を充実させ、市民や事業者向けの啓発を積極的に行っていきたい。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		次年度以降も、市HPを活用した市民や事業者向けの啓発を検討します。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-3も意識して実施をお願いします。 （各種休業制度の取得は、あらゆる分野へ参画する機会提供の観点にも関連しています。） 結果の記載をお願いします。	SNSでの発信も利用して啓発を進めてほしいと思います。
--	-----------------------------

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	29
基本目標	IV 誰もが活躍できるまちづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	育児休業取得の推進		
内容	市の男性職員の1ヶ月間を超える育児休業の取得を推進します。		
事業名	人事管理経費	当初 予算額	0 千円
事業の目的	育児休業の取得の推進		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
特定事業主行動計画に基づき、育児休業の取得を推進する。 ・男性職員の1ヶ月間を超える育児休業取得率を30%以上とする。			特定事業主行動計画に基づき、育児休業の取得を推進した。男性職員からの相談があった場合には、個別に相談を受け、スケジュールの確認や適切な休暇の案内等の対応を行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
育児休業の取得率については県内でも高い水準にあることから、引き続き推進していく。(令和4年度実績52.9%)	1 ☐	ア ☐ イ ☐		引き続き、男性職員の1ヶ月間を超える育児休業取得率の向上を推進していく。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

周囲の環境の整備（周りのサポート体制、復帰後の環境、育休取得中の他の職員の負担増への配慮等）が重要です。その取組に期待します。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。 育休の過ごし方や、ただの休暇ではないという話も伝えていけると良いのではないかと思います。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	30
基本目標	IV 誰もが活躍できるきまづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		
事業名	コミュニティ活動推進事業	当初 予算額	600 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる地域活動、ボランティア参加の機会を提供		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
地域が行うスポーツや活動、ボランティア活動など男女共同参画が享受されている。			市民交流センターにおいて、市民活動団体が中心となって団体同士が交流するイベントなど活動を行っている。また交流センターの自主事業として、市民活動団体活動支援を目的とした講座を行っている。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
引き続き、市民活動の参加啓発を継続していきたい。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		講座やイベントにおいて、子育て世代の女性に対しては託児や交流センタープレイルームなどの案内を行い、少しでも参加しやすいような支援を行っている。
	2 ☒	ア ☒ イ ☐	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、市民活動の参加啓発について、男女平等参画の観点で特に工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があつたと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	文化スポーツ課	整理番号	30
基本目標	IV 誰もが活躍できるきまづくり		
施策の方向	3 ワーク・ライフ・バランスの普及、啓発		
具体的な施策	様々な地域活動における参加機会の充実		
内容	誰もが等しくスポーツや地域活動、ボランティアに参加できるよう、参加の機会を提供します。		
事業名	スポーツ推進事業	当初 予算額	25,217 千円
事業の目的	各種スポーツ活動を推進し、市民の健康な心とからだをつくる。		

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 逗子市スポーツの祭典の開催 逗子市スポーツの祭典を開催し、子どもや高齢者、障がいのある人も、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるイベントとし、スポーツを通じた交流により、地域のスポーツ環境の活性化につなげる。 2. 各種スポーツ教室の開催（逗子市スポーツ協会補助事業） 指導者養成教室、ジュニアスポーツ教室を開催する。 3. 地域スポーツ大会の運営支援（逗子市スポーツ協会補助事業） 市内8地域によるファミリー運動会、地域対抗球技大会の開催への運営支援を行う。			1. 逗子市スポーツの祭典の開催 ・逗子市スポーツの祭典2024（開催日10/20、41種目実施、2,574人参加）を開催した。 ・アンケート結果では、「スポーツの祭典がスポーツを始める（再開する）きっかけになると感じますか。」の問いでは、「思う」…65.8% 2. 各種スポーツ教室の開催（逗子市スポーツ協会補助事業） ・指導者養成教室（全8回、延べ175人参加）ジュニアスポーツ教室（8種目、延べ279人参加）を開催した。 ・地域スポーツ大会の運営支援（逗子市スポーツ協会補助事業） ・市内8地域によるファミリー運動会（開催日9/15、21、23、10/6、12、13、19、4,684人参加）、地域対抗球技大会（開催日11/10、6種目、494人参加）への支援を行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
スポーツイベントやスポーツ教室等を通じて、いきいきとした地域連携の輪を広げ、男女の区別なく、多様な人々・団体との交流を推進する。	1 ☐	ア ☐ イ ☐		・県立スポーツセンターや競技連盟、民間企業などの協力を得て、子どもから高齢者まで幅広い年代、家族でも楽しめるスポーツイベントとして「逗子市スポーツの祭典」を開催。年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツが楽しめるイベントとして、ボッチャやコーンホールなどの経験がなくても楽しめるスポーツを実施し、子どもから高齢の方まで多くの方に参加いただいた。 ・アンケートなどから市民ニーズを的確に把握して、運動する機会、スポーツに触れる機会が増えるよう、庁内関係課と施策間の連携を図りながら、イベントや教室等の質、量の充実を図るなど、効果的な事業実施に努めていく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 視点1～5及び視点2のア・イも意識して実施をお願いします。 （スポーツ活動の推進は心身の健康に繋がります。） 報告では、「男女の区別なく、多様な人々・団体との交流を推進」できるよう工夫した点をの記載をお願いします。	昨今、ハラスメントにつながる部活指導も話題になっています。強くするための指導ではなく、時代に即した指導方法が大切だと思います。また、ジェンダー感の強い協議スポーツだけでなく、生涯スポーツも普及していくと望ましいと思います。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	31
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	あらゆる暴力を防止するための啓発と情報提供		
内容	DVなどの暴力の根絶に向けた啓発活動や情報提供を行います。また、当事者ばかりでなく地域や関係機関の適切な対応が行われるよう支援します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. デートDV予防ワークショップの開催 2. 子どもの護身法講座の開催 3. 女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携			1. デートDV予防ワークショップの開催 （開催日2/25、2/26、参加者数公立中学2校計246名、アンケート結果 とてもためになった、ためになった…87.8%） 2. 子どもの護身法講座の開催 （開催日7/21、参加者数42名（大人21名、子ども21名）、アンケート結果 大いに満足、満足…100%） 3. 女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携を必要に応じて随時実施	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
デートDV予防ワークショップは、ワークショップ内での説明や使用するイラストが、暴力は男性がするというイメージを植え付けないように意識した内容にします。また、DV＝身体的暴力という思い込みを防ぐため、暴力の種類（身体的、精神的、経済的、性的）を説明しています。 講座内で相談先情報を提供しています。 女性相談では、スムーズに相談が継続されるよう、本人の希望や必要に応じて、関係機関や関係課へつなぐ際にケース説明を実施しています。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	デートDV予防ワークショップ・子どもの護身法講座は、アンケート結果の反映や新しい情報を盛り込むなど、講座の内容の見直しを行い、改善することができた。女性相談については、直営化となる事で関係機関や関係課への連携がよりスムーズになることを期待している。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☒	ア ☒ イ ☒	A	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。 視点1-5も意識して実施をお願いします。 （暴力の防止は、生涯を通じた健康に関わる重要なことです。）	様々なタイプの講座があると思いますが、家族がそのような講座を受けたあとに、家族間で共有できるような講座にしてほしいです。配偶者間の暴力や虐待になる前に、暴力の否定を子どもに教えるような講座づくりをお願いします。
--	---

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	32
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 市民協働課窓口及び女性相談において相談先の情報提供を実施 2. 職員向けの研修（動画視聴）の実施（職員課） 3. 市HPの充実			市民協働課窓口及び女性相談にて、相談者の希望に応じて労働局等の相談窓口や法律相談を案内した。 また、内閣府発行「共同参画」の市HPへの掲載を始めた。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
相談先の情報提供だけでなく、HPでの啓発を前向きに検討していきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	職員課と合同での研修も検討。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

計画に沿った事業の実施を期待します。 報告では、HPでの啓発について特に工夫した点の記載をお願いします。	ハラスメント防止のための研修は、ぜひ職員課とも合同で進めてほしいと思います。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	職員課	整理番号	32
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	1 あらゆる暴力の根絶に向けた取組		
具体的な施策	ハラスメント防止のための啓発		
内容	ハラスメントを防止するため、情報提供や周知、啓発、研修を実施します。		
事業名	職員研修事業	当初 予算額	3,706 千円
事業の目的	ハラスメントを防止するため、研修を実施する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
ハラスメント防止研修を実施する。			①職場におけるハラスメント防止のための研修（動画視聴） 実施対象：全職員 受講人数：488人	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント、その他のハラスメント（マタニティ・ハラスメント、カスタマー・ハラスメント等）を防止する。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	B	引き続き、ハラスメント防止研修を実施していく。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	5 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点2のイも意識して実施をお願いします。 （LGBT理解増進法の成立など、性的マイノリティに対するハラスメント防止も、近年では特に重要な課題のひとつとされています。）	取組結果から、プランの推進へ一定の効果があったと考えます。常勤・会計年度職員関係なく、多くの職員が研修を受けられればいいと思います。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	33
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
女性相談の実施における関係機関、関係課等との連携			関係課と連携し、相談が必要な方を女性相談へ繋いだり、女性相談から他課へ繋いだ。また、女性相談にて児童・高齢者・障がい者等への虐待が疑われるケースについては、関係課・関係機関等に通告・通報するとともに、連携した対応を行っている。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
女性相談において関係機関や関係課に報告が必要な情報を得た場合には、迅速に報告します。必須でない場合も、本人の意思を確認し、関係課等の職員が相談に同席するなどして適切な場所に繋いでいきます。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	令和7年度から女性相談を直営化することで、DV被害者等の早期発見に向け、関係課等と連携して取り組みます。
	2 ☐	ア ☐ イ ☒	A	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-2も意識して実施をお願いします。（暴力から逃れられることは生き方の選択を広げます。）	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	子育て支援課	整理番号	33
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の早期発見に向けた連携		
内容	配偶者、パートナーからの暴力（DV）や幼児、児童虐待の実態など、関係機関及び担当課との連携を図り、被害の早期発見に努めます。		
事業名	こども家庭センター運営事業	当初 予算額	6,838 千円
事業の目的	母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、虐待への予防的な対応から子育てに困難を抱える家庭まで、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを両輪として、切れ目なく、もれなく対応する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
改正児童福祉法の施行に伴うこども家庭センターを設置。 1. 地域すべての妊産婦・子育て家庭に対する支援業務 ・研修・講座・こども相談（訪問・面接・電話等） ・学校（保育園・幼稚園）・家庭訪問・乳幼児健診・教室他 2. 支援が必要な妊産婦や子育て家庭への支援業務 3. 地域における体制づくり ・逗子要保護児童援助ネットワーク会議・進行管理会議 ・サポートネットワーク会議 ・子育て支援センター・ファミリーサポートセンター連絡会 ・主任児童委員連絡会・市・児相連絡会 4. ケースによってはサポートプランを作成			改正児童福祉法の施行に伴い逗子市こども家庭センターを設置。 1. 地域すべての妊産婦・子育て家庭に対する支援業務 ・子ども・ICTとの付き合い方講座 6回 延68人参加 ・こども相談203件（内訳：訪問29件・面接53件・電話121件） 3. 地域における体制づくり ・逗子要保護児童援助ネットワーク会議・進行管理会議 ・サポートネットワーク会議、子育て支援センター・ファミリーサポートセンター連絡会、主任児童委員連絡会・市・児相連絡会 計80回 延708人 4. サポートプラン作成 5件	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2		気付き・次年度以降へ向けて
・今年度よりこども家庭センターを設置。 ・子どもの養育状況を確認する際、夫婦不和、DV、育児分担の偏りなどに遭遇する機会、相談を受けることがある。その際に、必要に応じてサポートプランを作成し、子どもの権利を守ることにとどまらず、大人の人権にも注視し、必要な支援に早期に繋げていく。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	・連携会議等は随時実施実施できており、関係部署とも連携を図れていると思われる。しかし、それは課題が発生した後の対応である。そこで、次年度に向けては、後追いではなく、未然に防げるよう、関係機関に定期的に出向き、聞き取りをする事業を充実させていく。 ・サポートプランの作成件数を増やし、ケース数の10%を目指す。
	2 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☒	ア ☒ イ ☒	B	
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

視点1-2も意識して実施をお願いします。 （暴力から逃れられることは生き方の選択を広げます。） また、視点2のイも意識して実施をお願いします。 （本市では、パートナーシップ宣誓制度を導入しており、同性パートナーが子育てを行うケースも考えられます。）	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	34
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等緊急一時保護施設の確保と一時保護支援		
内容	DV被害者等緊急に保護を必要とする女性等に対し、保護施設を確保し、一時的に宿泊施設等に保護するための支援をします。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 女性相談の実施 2. 緊急一時保護用費用の支給（宿泊費、食費、交通費） 3. 県、市、民間団体の3者の協働により、2施設で緊急一時保護及び中期的支援を実施（市は運営費用の1/3を負担）			1. 女性相談の実施 令和6年度相談件数174件 2. 緊急一時保護用費用の確保（宿泊費、食費、交通費） 3. 県、市、民間団体の3者の協働により、2施設で緊急一時保護及び中期的支援を実施するための協定を締結	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
女性相談では緊急で避難が必要な相談者が来所した場合には、シェルターを初め、一時的にホテルへの避難や親族の元への避難など、様々な一時保護先について検討し、適切な保護先への避難を支援します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	次年度以降も継続して、DV被害者等の安全確保のための支援を実施します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	対象は女性になると思いますが、男性被害者の場合についてはどうするか、課題が残ります。ひとまず女性が緊急時に避難できるような体制づくりをお願いします。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	戸籍住民課	整理番号	35
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		

事業名		当初 予算額	千円
事業の目的	DV被害者等の個人情報を保護する		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
DV被害者等の現住所が加害者にわからないように支援を行うもの。 住民情報系コンピュータシステム上で「住基支援申出」と登録され、関係各課において配慮を行うもの。 1 関係各課宛に戸籍住民課から取扱いについて周知している。 2 職員対象の情報セキュリティ研修において、資料の配布と説明を行っている。			1 関係各課宛に戸籍住民課から取扱いについて周知した。 2 職員対象の情報セキュリティ研修において、資料の配布と説明を行った。（2回実施）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
配偶者からの暴力、ストーカー行為等、児童虐待、これらに準ずる行為の4区分に分類し、性別や婚姻関係の有無を問わず、申出を受付、支援を行っている。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	支援措置の実施にあたっては、関係各課との連携や、丁寧な事前の聞き取りがより重要になってきている。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	35
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	2 DV被害者の安全確保		
具体的な施策	DV被害者等の個人情報の保護		
内容	住民基本台帳事務における支援措置（住民票の閲覧制限等）を行うときは、情報の管理を徹底し、被害者の安全を確保します。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
住民基本台帳事務における支援措置における相談機関としての聴取と承認事務の実施			住民基本台帳事務における支援措置届出書に係る確認を行った。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
女性相談では支援措置を希望する相談者に対し聞き取りを行い、支援措置以外の方法も含めて、相談者にとって最も安全な方法が選択できるよう支援します。 関係文書の扱いについては手渡しを厳守し、鍵付きの書庫に保管し、情報の保護を徹底します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	次年度以降も情報の管理を徹底し実施します。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】 A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

しっかりと視点を意識した効果的な取組です。計画に沿った事業の実施を期待します。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	36
基本目標	Ⅴ あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	女性相談事業の充実		
内容	女性相談窓口を周知し、各部署や関係機関と連携を図ります。また、女性相談員の資質の向上とともに、適切な対応に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
1. 女性相談窓口の周知（女性トイレ内への案内の掲示、案内パンフレットの配架、HPでの周知） 2. 女性相談員の研修の受講勧奨			1. 女性相談窓口の周知 ・女性トイレ・多目的トイレ内への案内の掲示（配架場所数31（市役所、交流センター、沼間・小坪コミュニティセンター、図書館、体験学習施設スマイル、逗子アリーナ、保健センター、療育教育総合センター、子育て支援センター） ・HP、くらしのガイドへ掲載 2. 女性相談支援員（委託）にも研修の受講を推奨した（令和6年度第2回女性問題研修会）。	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
女性相談窓口の周知は市庁舎以外にも、市民交流センター・図書館・コミュニティセンター・体験学習施設スマイル・逗子アリーナの女性トイレに配置します。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	令和7年度は女性相談を直営化し、職員として研修に参加できる機会が増えるため、積極的に勧奨する。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

多目的トイレへの掲示もお願いします。 報告では、配置や掲示の箇所数、配架したパンフレットの総数の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
---	--

〈2024年度〉

ずし男女平等参画プラン2030 推進計画・実施状況報告書

担当課	市民協働課	整理番号	37
基本目標	V あらゆる暴力の根絶		
施策の方向	3 相談体制の充実		
具体的な施策	男性DV相談、性的少数者に関する相談		
内容	男性のDV相談や性的少数者に関する相談窓口等の情報の提供に努めます。		
事業名	男女平等参画プラン推進事業	当初 予算額	5,814 千円
事業の目的	すべての人が平等に参加できる男女平等参画社会を実現する。		

【計画】

【報告】

具体的な施策に対する事業の内容			具体的な結果	
市民協働課窓口及びホームページで相談先情報を提供			・市民協働課窓口及びホームページにて相談先情報の提供を行い、性的マイノリティーの方が相談できる機関の紹介も行った。 ・男性トイレ・多目的トイレ内への案内の掲示（配架場所数22（市役所、交流センター、沼間・小坪コミュニティセンター、図書館、体験学習施設スマイル、逗子アリーナ、保健センター、療育教育総合センター、子育て支援センター）	
PRポイント・意気込み	視点1	視点2	3段階評価	気付き・次年度以降へ向けて
相談先情報以外にも、講演会等のイベント情報等も積極的にHPへ掲載していきたい。	1 ☒	ア ☒ イ ☒	A	前年度より配架する場所を増やすことができた。引き続き情報を掲載する。
	2 ☐	ア ☐ イ ☐		
	3 ☐	ア ☐ イ ☐		
	4 ☐	ア ☐ イ ☐		
	5 ☐	ア ☐ イ ☐		
	6 ☐	ア ☐ イ ☐		

↑【評価】A：効果があった
B：一定の効果があった
C：効果が得られなかった

ずし男女平等参画プラン推進会議によるコメント

積極的な情報掲載を期待します。 報告では、掲載箇所数、工夫した点の記載をお願いします。	取組結果から、プランの推進へ効果があったと考えます。 次年度以降も、視点を意識した取組の継続とともに新たな気づきを期待します。
--	--

プランの数値目標

基本目標Ⅰ

	項目	現状値(現状 値調査年度)	2023 年度	2024 年度	目標 (2030 年度)
1	市民意識調査の結果において「平等」と感じる市民の割合が 50%を超えている。*1(市民協働課)	15.8% (2021 年度)	18.9% (2023 年度)	22.2% (2024 年度)	50% (2029 年度)
2	市民意識調査の結果において「男は仕事、女は家庭」に「賛成」「どちらかといえば賛成」と答える市民の割合が 20%以下になっている。*2(市民協働課)	26.70% (2020 年度)	26.70% (2020 年度)	26.70% (2020 年度)	20%

基本目標Ⅱ

	項目	現状値	2023 年度	2024 年度	目標 (2030 年度)
3	審議会等へ参加する女性の割合が 40%を超えている。 (市民協働課)	28.70% (2022 年度)	29.90% (2023 年度)	31.1% (2024 年度)	40%
4	自治会、地域団体等の女性役員、リーダーの割合が40%を超えている。(市民協働課)	22.08% (2022 年度)	19.23% (2023 年度)	24% (2024 年度)	40%
5	管理職の女性の割合が 30%を超えている。(職員課)	14.50% (2021 年度)	16.1% (2023 年度)	19.6% (2024 年度)	30%

基本目標Ⅲ

	項目	現状値	2023 年度	2024 年度	目標 (2030 年度)
6	市民意識調査の結果において「父母ともに主に子育てを行っている」と回答する人の割合が 100%になっている。*3 (子育て支援課)	57.0% (2019 年度)	66.5% (2023 年度)	84.2% (2024 年度)	100%
7	子育て支援センターにおける「お父さんの日」の来場者数を、年間 150 人以上にする。(子育て支援課)	未把握	149 人 (2023 年度)	307 人 (2024 年度)	150 人
8	子育て支援センターに来場する保護者のうち、30%以上が父親になっている。(子育て支援課)	未把握	10.4% (2023 年度)	10.5% (2024 年度)	30%
9	市民意識調査の結果において「LGBTQ 等の性的少数者について、言葉と意味を両方知っている」と回答する人の割合が 80%を超えている。*4(市民協働課)	62.40% (2020 年度)	62.40% (2020 年度)	62.40% (2020 年度)	80%

基本目標Ⅳ

	項目	現状値	2023 年度	2024 年度	目標 (2030 年度)
10	市男性職員の 1 ヶ月間を超える育児休業取得率が 30%を超えている。(職員課)	18.2% (2020 年度)	75% (2023 年度)	61.5% (2024 年度)	30%
11	創業支援セミナー参加者のうち、女性の割合が 50%を超えている。(経済観光課)	50.96% (2021 年度)	58.0% (2023 年度)	48.43% (2024 年度)	50%

基本目標Ⅴ

	項目	現状値	2023 年度	2024 年度	目標(2030 年度)
12	DV を受ける人を減らす。*5(市民協働課)	7.1% (2020 年度)	7.1% (2020 年度)	7.1% (2020 年度)	7.1%未満

*1 「逗子のまちづくりに関する市民意識調査」等の結果に基づく。(毎年度実施予定)

*2*4*5 「男女平等参画社会に関する市民意識・実態調査」の結果に基づく。(次回は令和 10 年度実施予定であり、以後 5 年ごとに調査予定)

*3 「逗子市子ども・子育て支援事業計画の策定に伴うアンケート調査(未就学児調査)」の結果に基づく。(次回は令和 5 年度に実施予定であり、以降5年ごとに調査予定)